

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/16		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587018901	科目番号 / Subject code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (地域の環境を考える)COC+ / Community and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見: fukami nagasaki-u.ac.jp 黒田: skuroda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	深見: 環境科学部4階・環438教員室 黒田: 環境科学部4階・環431教員室		
担当教員TEL/Tel	深見: 095-819-2720 黒田: 095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見: 金曜日5時間目 黒田: 木曜日2時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域特性に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかで、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されるようになりました。そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。		
授業到達目標/Course goals	1.地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる。 2.「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3.持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レスポンス用紙への記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習課題として、事前に配布した講義資料や参考文献等に目を通しておきましょう。		
キーワード/Key word	地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD (持続可能な開発のための教育)、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 使用しない。 教材: 適宜プリント等を配布する。 参考書: 深見聡 『ジオツーリズムとエコツーリズム』 (古今書院、2014年) 西城戸誠・宮内泰介・黒田暁編 『震災と地域再生-石巻市北上町に生きる人びと』 (法政大学出版局、2016年)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎県内各地のローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(9月28日)	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化
第2回(9月28日)	II. 地域の環境と「環境教育」 環境教育の歴史-公害教育から国際理解教育へ-
第3回(10月5日)	環境教育のすすめ(1) 「科学リテラシー」に基づいた価値判断学習
第4回(10月5日)	環境教育のすすめ(2) 「科学リテラシー」と環境問題の扱い
第5回(10月12日)	環境教育の深化(1) 持続可能な開発のための教育(ESD)とは
第6回(10月12日)	環境教育の深化(2) 「ESDのための10年」の取り組み -長崎県雲仙市の事例から-
第7回(10月19日)	環境教育と観光教育(1) 長崎県小値賀町におけるアイランドツーリズム
第8回(10月19日)	環境教育と観光教育(2) 世界遺産・軍艦島とダークツーリズム
第9回(10月26日)	III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場(1) 震災による地域の「被害」とは
第10回(10月26日)	災害と地域復興の現場(2) 災害社会を考える
第11回(11月2日)	環境と地域のコミュニティ(1) 「地域」というまとまり
第12回(11月2日)	環境と地域のコミュニティ(2) 自治はつらいよ?
第13回(11月9日)	環境ガバナンスのしくみ(1) 環境自治の実態と課題
第14回(11月9日)	環境ガバナンスのしくみ(2) 持続性のゆくえ
第15回(11月16日)	環境と地域の関係のあり方とは
第16回(11月16日)	まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587047301	科目番号 / Subject code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (資源管理論) / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki_nagasaki-u.ac.jp (濱崎) y-shigetomi_nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環449 (濱崎) 環440 (重富)		
担当教員TEL/Tel	内線 2742 (濱崎) 2785 (重富)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜14:00-17:00 (濱崎) 木曜10:00-17:00 (重富)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	水資源、希少金属資源(レアメタル)、エネルギー資源、資源の循環利用など、さまざまな資源が もつ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について、実例を挙げながら概 説する。		
授業到達目標/Course goals	さまざまな資源が持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみが理解できる。また 、資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法が理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	濱崎・重富ともに、レスポンスシート(20%)、プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・ 貢献度(20%)、グループ発表(60%)を総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業で行うグループワークおよびグループ発表のための情報収集が課される。		
キーワード/Key word	グローバル社会, 資源管理, 利害関係, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介す る。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回（4月6日）	授業オリエンテーション（授業のねらい，達成目標，成績評価，グループワークなど）
第2回（4月6日）	資源管理とは：経済発展（資源利用）と環境保全（資源保護）のせめぎあい
第3回（4月13日）	環境保全と資源保護に関する国際社会および日本の動向
第4回（4月13日）	グループワーク
第5回（4月20日）	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム
第6回（4月20日）	貿易ゲームの振り返り，グループワーク
第7回（4月27日）	水資源の管理を事例とした資源の利用と保全?政治的観点から
第8回（4月27日）	前半・グループ発表
第9回（5月11日）	エネルギー問題
第10回（5月11日）	希少金属資源
第11回（5月18日）	廃棄物
第12回（5月18日）	循環型社会
第13回（5月25日）	後半・グループ発表?@
第14回（5月25日）	後半・グループ発表?A
第15回（6月1日）	エコロジカルフットプリント

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587049501	科目番号 / Subject code	05870495
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15311_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (廃棄物の管理と処理) / Management of Waste		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	産学官連携戦略本部 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物の管理と 処理に関する知識と理解を深める.		
授業到達目標/Course goals	日本の廃棄物処理のデータ分析と, 学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物の 管理と処理について考察する力を身につけることができる.		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	シラバスの内容に沿った事前学習, および各調査・分析毎に簡単なレポート作成し提出する事後学 習があります.		
キーワード/Key word	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない. 資料は適宜提示する.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと。 グループ活動を中心とした実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義, さらに個人だけではなくグループにも及ぶことを念頭に入れておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ごみの話, 関連する法制度についての概要説明		
第2回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) の概要説明		

第3回	居住地域のごみ分別方法について調査する
第4回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析する
第5回	居住地域のごみ分別方法と他地域のごみ分別方法を比較検討し、「ごみを分別すること」について考察する
第6回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する?T
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する?U
第8回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する
第9回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う?T
第11回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う?U
第13回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い、現状を評価する
第14回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し、提案する。